

江差町議会だより

■発行・北海道江差町議会
■編集・議会広報特別委員会
〒043-8560
北海道檜山郡江差町中歌町193-1
☎[0139] 52-6713 (直通)



会場の張りつめた空気。読み手の口から洩れる僅かな声を頼りに一瞬で札を突く集中力。子どもたちも指導者も凄い。

少子化に歯止めがかかりませんが、ずっと続いて欲しい正月の風物詩です。(町子ども会連合会主催による百人一首大会のひとつコマ)

これだあ!

—もくじ—

- ◆12月定例会概要・・・・・・・・・・2P～5P
- ◆一般質問・・・・・・・・・・7P～11P
- ◆第1回臨時会・・・・・・・・・・12P

**平成24年
12月議会**

12月議会定例会は、12月13日に招集され同日1日の会期で終了しました。

町長から行政報告を受けた後、5名の議員が一般質問を行い町政運営の方針を質したほか、補正予算など11件の議案などを審議。全件ともに原案通り可決しました。

補正予算では11月以降に発生した自然災害により複数の町有施設が被害にあい、これらの修繕費だけで1,454万円にものほりました。

12月補正総額は8,932万円

町有資産の災害で、補正額1,454万円

今定例会には理事者から補正予算に関する案件が3つの会計で6件提案されました。
中でも、4ページに掲載している町長の行政報告のとおり、昨年秋季以降に自然災害が多発し、町有施設などが被災。下記の4件が補正予算に盛り込まれました。

各会計予算の12月議会補正の状況

会計名	今回補正額	補正後の予算額
一般会計	6,946万8千円	49億1,462万円
国保特別会計	679万1千円	10億9,382万円
水道事業会計(収益的支出)	1,306万1千円	4億6,092万7千円
合計	8,932万円	64億6,936万7千円

補正予算として形状された町有資産と金額

	被害に遭った資産	金額
10/14 落雷	田沢野水道配水地機器	397万7千円
11/ 2 強風	南が丘小学校非常口扉	103万2千円
11/28 落雷	砂川水道浄水場機器	908万4千円
12/ 6 強風	南が丘職員住宅外壁	44万8千円
合計		1,454万1千円

南が丘職員住宅修繕に関する補正審議において行なわれた質疑では、職員住宅も含め町有施設全体に関して、小額の修繕を行なえば維持出来るものが、それをしないために多額の経費が必要になる懸念や、何よりも人や町民の財産へ被害を及ぼす恐れを指摘。財政担当課長からは「町有施設はきちんと管理していく義務がある。来年度の予算編成の中で検討あるいは精査していきたい。」との回答を得ました。



今定例会の議案は全て全員賛成で可決はされましたが、補正予算審議では、全町内的なバス停の待合所に関する考え方や中学生の部活支援の在り方など、行政側の姿勢に対する厳しい質疑が展開された。

補正事業 ピックアップ



◆生活交通路線等維持費補助 補正額 1,663万6千円
住民生活に必要不可欠な路線バス17路線の維持のため、
運行事業者に対して行なう補助金です。

(その他補正予算による
主な事業)
◆衆議院議員選挙事務経
費
補正額 785万7千円
◆越前バス待合所設置費
補正額 48万9千円
越前町のバス待合所が
老朽化。これを撤去し、
新たに設置します。

◆老人福祉センタースプ
リントラニー改修費
補正額 57万8千円
消防法上、緊急の整備
が必要となりました。

◆江差追分全国大会実行
委員会補助
補正額 100万円
第50回記念江差追分全
国大会の運営経費の一部
に、北海道市町村振興協
会からの助成金を活用し
ます。

◆国保税収納率向上対策
補正額 144万7千円
国保税の収納、徴収体
制の強化に向けた事務的
経費です。

◆医療費適正化対策
補正額 392万3千円
各医療機関から請求さ
れた国保診療に係る医療
費が適正かを点検するた
めの事務的経費です。

条 例

◆暴力団排除条例
町が町民や事業者等と
一体となって、暴力団の
排除に取り組むための総
括的な条例としてこの条
例を制定しました。

これにより平成9年に
制定された「公共施設の
暴力団排除に関する条
例」が廃止されました。

工事請負契約

6月定例会で議決した
「町道尾山湯の浜通り上
田沢橋架換工事」につい
て、設計変更などにより、
契約金額が変更になりま
した。

当初契約金額
9,450万円
最終契約金額
9,948万7千5百円



工事請負契約の関連質問で、上田沢橋
は架け替えが行なわれ通行できるよう
になったものの、橋が道路から一段高
くなっている現状の危険性を指摘。
来年度の工事で解消されるそうです。
通行の際はご注意ください。

行政報告

町長から、9月定例会以降の出来事のうち、次の3件について報告がありました。

『自然災害による3件の被害について』

①11月26日27日にかけての暴風雪被害

町有財産では江差北小学校屋根並びに旧朝日小学校の校舎壁面、港湾用地内の防護柵が一部損壊。農業関係では、越前・鹹川地区でビニールハウス6棟が破損する被害が発生した。

②11月28日の落雷による被害

午後10時から一時間半程度、町内一円において連続的な落雷が発生。南が丘地区において、約50戸のご家庭で翌日午前までテレビ映像が受信不能となった。

また、この落雷により砂川浄水場の機器が被害を受けている。



被害を受けた立茎アスパラ用ハウス。強風が吹き荒れた昨秋の天気は農業者を悩ませました。

③12月6日から7日にかけての低気圧による被害

南が丘職員住宅の壁面崩落、文化会館屋上塔屋の一部が損壊。農業関係では、越前・鹹川地区のビニールハウス3棟が破損する被害が発生した。

意見書を提出

12月定例会では6名の議員から提出された次の3本の意見書が全て可決され、関係行政機関へ提出しました。

- ◆米軍輸送機「オスプレイ」の配備撤回および国内飛行訓練中止を求める意見書
- ◆生活保護基準の引き下げはしないことを政府に求める意見書
- ◆トド等海獣による漁業被害に関する国への意見書



泊沖合のヨシ島で休むトド。(昨年2月撮影)
トドの来遊は、近年、増加の一途をたどっており、漁業被害が増加している。

特に江差をはじめ日本海沿岸の水産資源に対して深刻な影響を与えており、漁業者にとって、海獣による漁業被害は正に「災害」そのもの。全会一致で、国に救済策などを訴える意見書を提出しました。

また、南浜駅下国道の

階段工の波浪による剥離、五厘沢地区海岸の消波ブロックの波浪による飛散について、所管している機関への報告及び対応の要請を行った。

『江差脳神経外科クリニック救急対応全面再開について』

12月17日から、従前通りの救急受入れを再開した。

なお、休止期間中の救急搬送は6件でした。

『JR江差線の江差・木古内間について』

JR北海道が示した鉄路廃止後の地元支援策について、代替バスの運行支援期間について、会社側が提示した15年間で20年間に延長させることなどとした3町の対策協議会としての対案を提示していく。

『町有施設指定管理者に関する事務調査』を終える

管理者は民間力を活かした積極的な情報発信を行い
行政は、管理者の努力にインセンティブを！

委員会では平成24年第1回定例会で調査を付託されて以降、施設の現地調査や指定管理事業者との意見交換など、10回の委員会を開催し調査を終結しました。

委員会としての報告の概要は次のとおりです。

○利用者拡大への取り組みと

積極的な情報発信を

各施設の設置目的を踏まえ、民間のノウハウを一層活かして利用者数の向上に向けた努力が必要である。壱番蔵や江差追分会館等は、観光の拠点施設となっている事から、情報発信を積極的にしていく必要がある。

○江差追分会館の売店の在り方と

施設裏口へスロープ確保を

江差追分会館売店は利便性をさらに向上させるため、開店時間等について改善を図る必要がある。

また、売店の在り方については、指定管理者と一体となった方法も検討すべきである。

江差追分会館は、実態として裏口からの入館が多くなっている。障がい者や高齢者への安全なアプローチを確保する為に裏口へのスロープの整備などのきめ細やかな対応が急がれる。



追分会館裏手の現状。
駐車場から施設に入る際に土手があり、登る手段は4段の階段のみ。議会としては体の不自由な方への配慮が必要と考える。



5月には、歴史的まちなみ交流館『壱番蔵』を現地調査。姥神神社の近くという立地から、観光案内所としてのウエートが高い。指定管理料の見直しには業務実態の考慮を。

○指定管理料に関して

施設の管理費を制度移行前と移行後と比較した結果、低減が図られている。

今後、管理料の見直しを行う際には前例踏襲ではなく、再点検・再評価したうえで算出する必要がある。また、管理者が情報発信などにより利用者数の増を実現させた場合、管理料を増やすなど努力に報いる方法の検討が必要である。

○指定管理施設の維持管理について

老朽化が進んだ施設が多い。安全な公共施設を維持していく事は文字通り設置者である行政の責務であるので、維持管理を万全に尽くす必要がある。

現地調査の中では漁村センターの外壁や町営レストラン駐車場のコンクリート壁など修繕が必要である。

『指定管理者制度』の概要

公の施設の管理は効果的で効率的である必要があり、それに対応するため、民間のノウハウを活用しながら住民サービスの向上と経費の節減を図ることを目的に、平成15年より創設されたものです。

この制度が導入されたことにより、これまで公共的な団体等に限定されていた公の施設の管理運営を民間事業者も含めた幅広い団体にも委ねることができるようになりました。

江差町では、文化会館や追分会館、壱番蔵など8つの施設・設備がこの制度で管理されています。



人事案件

任期満了による人事案件について、次のとおり同意しました。



人権擁護委員候補者
松村 俊昭氏 (70 歳)



固定資産評価審査委員会
委員 若濱 博氏 (64 歳)

社会文教常任委員会

江差中学校新築に向けた 基本設計概要固まる 来年度着工・事業費は16億円強を想定



今回示された完成予想図。
新校舎は、現在グラウンドとして使用している学校敷地の海側へ建設予定です。

社会文教常任委員会（委員長：小笠原満）は12月19日、現在調査を進めている「学校整備に関する事務調査」を開催し、江差中学校改築に向けた進捗状況を確認しました。

町として最近に無い大規模事業であり議会としても慎重に議論を行なう必要性から、委員外の議員にも参加を要請。10名の議員が出席し理事者側から基本設計の進捗状況の説明を受け質疑を行いました。

現時点の概要としては、事業費は備品類などの精査が済んでいないため不確定要素があるものの約16億数千万円程度を要し、来年度から着工。外構工事も含めると3カ年を要する見込みとしています。

近く財政計画が示されることとなり、慎重な議論を進めて参ります。



校舎の完成予想模型により質疑を行なう各議員

議員にとって「一般質問」は、議場という公の場で、町長や教育長に対して町政運営の考え方や将来に対する方針を質することができる唯一の場です。

◆質疑は要約されています◆

議会だよりのスペースの都合上、質問・答弁は要約したものを載せています。

◆表示の説明◆

文中の再、再々はそれぞれ再質問、再々質問を表します。

中学校の部活動、団体競技の人数が揃わない場合、 合同チームで参加させる考えは

教育長 状況によるが、すぐ、合同チームとはならない

萩原 徹 議員（無会派）

① 中学の生徒数が減少している中で、団体競技が組めない場合、合同チームとして大会に参加させる考えは。
② 先生の数も減少し専門外顧問になっている事があるという事。今後、外部コーチなどの支援をどう考えるか。



練習に励む江差中学校バスケット部の生徒。子どもたちの減少は避けられません。それでも大好きなスポーツへ打ち込める環境整備が必要と考えます。

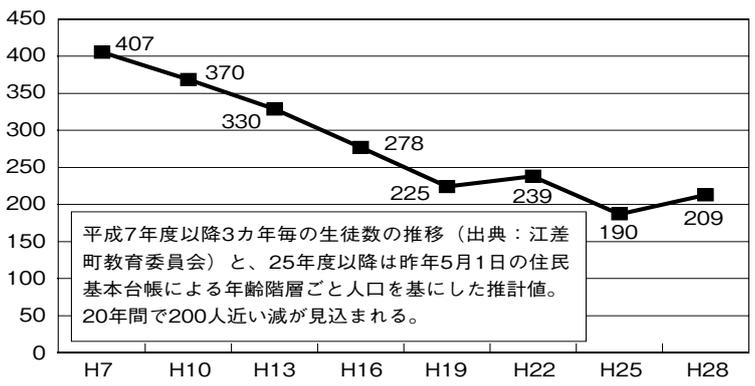
教育長

① 過去には町の枠を超えて合同チームを結成した部活はあったが、その時々各学校のおかれている状況にも左右されるので、即、合同チームという事にはならない。
② 学校が部活動に求めているものが教育の一環であり、勝利至上主義ではない。
加えて、各学校においては、部活動に関する運営方針を定めて対応しており、その方針を尊重することが大切である。

③ 過去には出来たが、なかなか難しいという答弁。合同チームの難しい点と言うのは何か。
学校教育課長 各学校が部活に求めている目的がそれぞれ違う。また、練習場所の問題、合同練習をどのようにやるのか、それからその移動手段やその際の責任はという事もあり、これらの条件が整理された場合にやっていくことになると思う。

また、江差中学校のサッカー部が今年になって廃部となったが、今後希望者が出た場合、どういう状況になったら部活動としてまた認めてくれるのか。
学校教育課長 この年においてこの年にならないという事ではない、将来も見据えて、江差中学校の場合であれば5年位のスパンで教諭の数も含めた中で部活動を検討し、都度の中で理解を得ながら精査をしているという状況である。

平成7年度以降の町内中学校生徒数の推移（一部予測）



◆言葉の説明◆ 「コミュニケーションスクール」

教育行政が自らの所管の公立学校の運営や改革について手が回らないところを、地域住民に積極的にかわかってもらって運営の一部を任せる形態の学校のことです。

防災訓練の評価は

町長 町内会独自の取組みで防災意識高まる

小野寺 真 議員（日本共産党）

町が10月に実施した防

災訓練の評価と課題、来年度訓練の方針は。

町長

まずまずの成果だと考
える。その要因として、
訓練前に実施した地域で
の図上訓練や、五勝手町
内会が独自に防災マップ
を作成するなど、防災に
対する意識の高まりがあ
る。

一方で、要援護者の避
難誘導の在り方は今後の
課題である。

来年度は「豊川・愛宕・
新栄地区」と「水堀地区」
で実施したい。

再

北海道が11月に表
明した日本海における津
波浸水想定の中間報告を
どう考えるか。

②南浜側から南が丘に避
難する際使用する歩道橋
について、点検等は。



五勝手町内会が実施した図上訓練の様子。
地域の地図を広げ、災害発生時に一人の被災者も出さないための真剣な
検討を行なう参加者。
皆さんの地域ではどんな備えをされていますか？

断じた段階では対応して
いく。

『避難所の整備』につ
いて

①最終報告が出た段階で
対応したい。
②目視等で安全確認をし
ている。今すぐ倒壊の恐
れはないが、年数が経過
しており修繕が必要と判

11月の胆振地域での豪
雪による停電を念頭に質
問する。
自家発電を含めた災害
備蓄と非常食の現状と課
題は。

町長

①町では災害備蓄として
発電機2台等を所持して
いる他、日赤江差町分區
としても毛布や応急手当
キット等が備えられてい
る。

非常食は水を500m
lが7千本、2ℓ分が
120本備蓄している。
今後の計画については
備品は現在検討中で、非
常食については炊き出し
等で対応したい。

**災害弱者の把握につ
いて**

町は今年、対象者の実
態把握を行なっているが
その現状と今後の進め方
は。

町長

日常的な見守りや、災
害時の避難支援を行える
ような仕組みづくりを各
町内会自治会の協力を得
ながら進めている。

引き続き広報紙での周
知、関係者の協力を得な
がら要支援者の登録を進

めると共に、既に要支援
者に支援者の配置がされ
ている地域においては、
見守り等が日常的に行わ
れるように内容を充実し
たい。

また、要支援者の方は
個々に実態が違うことか
ら、災害避難時における
支援策について迅速に避
難出来るような態勢を作
りたい。

**管理型産業廃棄物処
理場について**

処分場から発生する浸
出水を、赤平市にある処
分場のように海に放流し
ない循環式にするよう求
めるべき。

町長

土地の形状など地理的
条件の違いなどから、放
流式を採用したと聞いて
いる。

放流する水質の厳格化
を求めている。

町がリードし、『サービス付き高齢者住宅』推進に向けた検討会の立ち上げをすべき

町長 民間の発想を期待。現段階では考えていない

小林 栄治 議員（日本共産党）

『高齢者の住宅問題』について

①国の高齢者住宅政策は昨年「サービス付き高齢者住宅」として制度を統一し、進めているが、町として現時点での高齢者住宅の在り方・課題については、

②今後増えるであろう高

町長

①高齢者の持ち家につい

ては介護保険制度を利用

するべきでは。

建設関係者や福祉関係

者も含めた広く意見を求

めていくための検討会の

立ち上げなど町としての

リーダーシップを発揮す

るべきでは。

③サービス付き高齢者住

宅は、近い将来の課題と

思われるが、行政独自と

しての解決は厳しいと考

える。



した段差解消・手すり・トイレの改修を進めており、高齢者住宅課題という事になった場合、特に独居、虚弱高齢者のバリアフリー化等が必要な課題と考えている。

②住宅政策に係わる担当課は環境住宅課だが、横の連携を図りながら進めたい。

③檜山管内で行われた説明会でも建設不動産、福祉医療の関係者が24名参加。関心の高さが表れている。

民間の発想や企画を大切にしたいと考えており、現段階では町がリードすることは考えていない。

◆言葉の説明◆

「サービス付き高齢者住宅」

住宅の設計や構造に関する基準、入居者へのサービスに関する基準、契約内容に関する基準の三つがそれぞれ一定の要件を満たし、北海道に登録された住宅です。

江差北中学校3年生が本会議を傍聴

江差北中学校3年生18名が第4回定例会を傍聴しました。数日後、個々の感想が議会へ届きましたが、鋭い観察力には各議員ともに感心しきりでした。

傍聴した生徒のインタビューをご紹介します。



議会を見学して

江差北中学校3年
國仙夏海さん



議会では、一つの問題に反対や賛成などの話し合いがされていて、凄く緊張しました。

中身的には、自分達に身近な部活動や津波が起きた場合の防災訓練のことが議論されていて、ふだんは何も気にせず生活してきたけど、こういうところで話し合われているんだと分かりました。

私は1年生の時バレー部で部員が3人のため練習はしましたが試合には出られなかったので、残念だったのを覚えています。他の中学校との合同チームは簡単ではないんだと感じました。

江差駅周辺の再開発方針は

町長 JRとの協議が整っていない現状

横山 敬三 議員(無党派)

木古内・江差間の鐵路 廃止について正式に通達があったが、町として次の点をどのように対応しているか。

① 無くなることでの不便さをいかに補っていくかという広報活動などの準備は。

② 駅周辺の再開発方針は。

町長

① アクセス道路の整備関連は「主要道道江差・木古内線整備促進期成会」にて要請行動を実施してきており、また新幹線開業効果を最大限発揮するために早期整備を強く要請している。

広報については、観光振興の面でも情報の発信は不可欠と考えている。

② 江差駅周辺の再開発方

副町長

江差木古内間が廃止になるというのが規定路線だったという主旨が根

底にあるようだが、町の再開発計画を示すということは、どうぞ廃止になってくださいと言うの

と同じであり、町としてそのような立場を取るの

はあり得ない。

江差中学校改築について 10月中旬に基本設計を終

教育長

設備等の検討や中学校教諭からの要望を反映させるなどによるもの。

間もなくまとまるので、今議会終了後の早い時期に説明したい。

再

建築費の概算が出なければ町の財政計画が策定できないと聞いているが、来年の3月に、設計が終了するという予定は変わらないのか。

学校教育課長

設計の完成時期は変わらない。

総務財政課長

建築費は25年度予算に反映させる。費用が固まった時点で財政計画なども示せる。

再々

40年ほど前、北海道に新幹線を延ばすという計画時から木古内・江差間の鐵路廃止が考えられたはずであり、対応が遅かったと思うが。



木古内江差間の鐵路廃止を見越したインフラ整備をもっと積極的に。

横山議員は、このほかに、「JR新幹線への対応について」を質問しています。

江差ウインドパワー(株)10月からの新たな単価契約は

町長 売電単価が19・47円に

大門 和子 議員(無党派)

江差ウインドパワー(株)

の売電契約について

① 10月から北電と新たな契約になると聞いていたが。

② 新しい契約による長期の収支計画は。

町長

① 10月26日付で、今年10月1日から平成34年1月31日までの9年4ヶ月間、売電単価を19・47円と契約した。

なお、過去の売電単価との差額として北電へ支払う「受給料金精算金」は、6億5千4百万円で、返済期限は、平成29年度末までとなっている。

② 平成24年度収支計画については、当初計画の発電量で積算すると約3億5千万円の年間収入見込みで、当初に比べて2億3千万円程度の増加

となる。

長期の収支計画については会社側から提示されていない。

少子化対策について

① 平成25年度予定されている道立江差病院における産科の再開は。

② 出産される方に一時金として10万円の支給を。

③ 医療費無料化について中学生まで拡大を。

町長

江差町で一人の女性が一生に産む子供の平均的な指数は全国や全道より高い。町は少子化対策と一言よりも共働き世帯において子育てしやすい環境を整えたい。

① 道立病院の産科の再開は確定していない。

② 出産一時金で子どもが増える訳ではない。当面

検討しない。

③ 医療費助成の対象範囲の拡大について、これに限らず総合的な子育て支援策が必要と判断しており、来年度の予算編成の中で判断したい。

職員の研修について

平成25年度予算では、

職務能力を向上させる研修計画を立てて各科目に組み込むべきでは。

町長

25年度の予算編成における研修旅費については、所管課から提示のある研修を集約・精査し、研修計画の中に盛り込むこととしている。



少子化対策の決定打はない。地道に「産みやすい環境・育てやすい環境作り」の整備を。

再 人事異動となった際に研修がされていない。団塊の世代の退職で職員の年齢層が低くなってくるという時ほど研修に出すべき。

総務財政課長

柔軟に対応したい。

定年退職者の再任用制度について

長年培った能力を有効に発揮できるように行なわれてきているが江差町として考えは。

町長

国及び道の運用方針を見定めながら対応したい。

◆言葉の説明◆

「受給料金精算金」

過去、発電した電力は高い単価で売電していましたが、今回契約した単価との差額を精算し、電力会社に返済するものです。

議会の動き

10月29日

- ◆全員協議会（出席9名、欠席3名）
 - ・ J R江差線について

11月2日

- ◆議会運営委員会（出席5名）
 - ・ 議会運営に関する事務調査
- ◆全員協議会（出席10名、欠席2名）
 - ・ J R江差線について

11月6日

- ◆総務産業常任委員会（出席6名）
 - ・ 指定管理者との意見交換

11月9日

- ◆議会運営委員会（出席5名）
 - ・ 議会運営に関する事務調査

11月16日

- ◆総務産業常任委員会（出席5名、欠席1名）
 - ・ 事務調査の取りまとめについて

11月27日

- ◆議会運営委員会（出席4名、欠席1名）
 - ・ 第4回定例会の運営について
- ◆総務産業常任委員会（出席5名、欠席1名）
 - ・ 事務調査の取りまとめについて

12月7日

- ◆議会運営委員会（出席3名、欠席2名）
 - ・ 第4回定例会の運営について

12月13日

- ◆第4回定例会（出席11名、欠席1名）

12月19日

- ◆社会文教常任委員会
（委員出席4名、欠席1名、委員外議員出席7名）
 - ・ 江差中学校改築基本設計の進捗状況
- ◆全員協議会（出席11名、欠席1名）
 - ・ 町の現状と課題について

1月18日

- ◆議会運営委員会（出席5名）
 - ・ 第1回臨時会の運営について
- ◆第1回臨時会（出席11名、欠席1名）
- ◆産廃特別委員会（出席10名、欠席1名）
 - ・ 建設計画の進捗と動向について
- ◆議会広報特別委員会（出席4名）

1月23日

- ◆総務産業常任委員会（出席6名）
 - ・ 今後の取り進めについて

第1回臨時会

1月18日に第1回臨時会を開催し、理事者から提案のあった一般会計補正予算を審議。全会一致で原案どおり可決しました。

補正予算は、北海道の補助事業を活用して、防災津波講演会を開催する経費や防災備品などを購入するためのものです。

補正の状況

会計名	今回補正額	補正後の予算額
一般会計	1,001万円	49億2,463万円

議会のことば

「常任委員会」

前号でご紹介した「委員会」活動のうち「常任委員会」に関してご紹介します。

江差町議会は『総務産業常任委員会』と『社会文教常任委員会』の2つの委員会が常設され、議長を除く11人の議員は、必ずいずれかの委員会に所属することになります。

両委員会ではそれぞれ行政の仕事を分担し活動を行っており、社会文教が社会福祉、消防、教育、保健衛生に関することを、総務産業はその他の商工観光、建設などを担当しています。現在の活動状況は今月号の5ページ6ページをごらんください。

委員会での活動は、社会経済の動きが早く、地方行政も複雑化してきている今日、議会が住民の代表としてしっかり行政と対峙し提言を行なうため、その重要性が益々高まっています。